

# 防犯ボランティア団体をつなぐコミュニケーション情報紙 おつかれさまです!

## 子ども見守り活動が築く地域と学校のパイプ 南小見守り隊（酒田市）

南小見守り隊は、平成20年4月19日に発足し、以来8年間にわたって、酒田市立南平田小学校児童の登校時や下校時の見守りを中心に活動を行ってきました。本年度は、11名の隊員と17名の協力隊員が活動しています。

酒田市立南平田小学校は酒田市東部を学区とし、現在284人の児童が通っています。徒歩で通学するのは砂越・飛鳥地区から約200人、北部の郡鏡地区から約30名です。旧東陽小学校の学区からはスクールバスを利用して約50名が通学しています。全ての地区に隊員・協力隊員がいて、見守りだけでなく、地域と学校とのパイプ役も果たしています。



見守り活動は主に登校時間帯に行っています。家の近くで見守りに立ったり、毎朝通学班に付き添って登校したりするなど活動の仕方は様々で、自分にできる形で行うことが原則になっています。揃いのビブスと帽子を身につけてその存在感を積極的にアピールし、地域の防犯にも大きく貢献しています。登校時の見守りが充実しているのでも、あえて夕方下校時間帯に毎日の散歩を設定し、見守り活動をしている隊員もいます。見守り活動だけでなく、交差点での挨拶運動や交通安全指導も行っています。見守り隊の隊員と子供たちが毎日触れあうことで「子供が元気よく挨拶ができるようになった。」「安心して子供を学校に送り出すことができる。」など保護者の方からの温かい評価もいただいております。

### 譲り合いとあいさつの運動が登下校時の安全確保につながる



ある隊員の意見から、中学校では自転車通学の中学生は小学生の登校隊の列を追い越すときは、自転車を降りて「おはよう」と声をかけて追い越すという運動を始めました。譲り合いとあいさつの運動を兼ねて、小学校前の通りを『ゆずロード』と名付け、平成26年度には『ゆずロード』の看板を設置して呼びかけを強めています。当時の飛鳥中学校の生徒会が積極的に動いた取り組みですが、隊員の活動がきっかけとなって、毎朝の通学の中で譲り合いと安全確保の行動を促し、あいさつも盛んになったことは嬉しいことです。

当地区は元々地域の活動が盛んで、防犯の意識も高いところです。南小見守り隊の活動が、この地域の防犯・安全・安心を継続していく一助となるよう、今後も活動していきます。

（文～酒田市立南平田小学校 長岡 均 校長）

**【編集後記】** 山形県は全ての小学校で子ども見守り隊が結成（一部通学バスで代用）されており、登下校時の安全対策がととても充実しています。とはいえ、県内各地で不審者事案が連日のように発生しています。県警察では、やまがた110ネットワーク（詳細は県警ホームページをご覧ください）で不審者情報などの安全安心につながる情報を電子メールでタイムリーに配信していますので、是非受信登録していただき、日々の活動の参考情報として御活用ください。